サフラン便り

第３４号　２０年8月１５日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1
TEL:0952-23-8931
FAX:0952-23-8941
http://www8.ocn.ne.jp/~saffron/

日本女性薬剤師会全国研修会報告

日　時：平成２０年6月２２日（日）１０時～１６時まで
会　場：星　薬科大学　メインホール
内　容：①「新しい医療安全行政の展開」厚生労働省大臣官房審議官　黒川 達夫　先生
②上手に歳を重ねるために　－アンチエイジング医学の現状－
AAC クリニック　　副院長 浜中 聡子　先生
③メタボリックシンドロームと食生活
自治医科大学附属病院　栄養部　栄養室長　宮本 佳代子　先生
④メタボリックシンドロームの本質にせまる
聖マリアンナ医大　代謝内分泌内科　教授　田中 逸　先生

（全国研修会に参加して）

＊　「一緒に考えよう！最新のアンチエイジング」星薬科大の荘厳なﾒｲﾝﾎｰﾙで行われた学術講演会は、私にとってもタイムリーな題材でしっかりはまりました。前日の横浜労災病院山本晴義先生の講演には感動しました。
（佐賀市支部　島田智子）

＊　メインの講義は「上手に年を重ねるために」～アンチエイジング医学の現状～　でした。
アンチエイジング対策の 5 つの key point　「抗酸化」「デトックス」「ホルモン補充」「抗肥満」「精神的充実」の講義を聴き、患者カウンセリングにまた個人的に有意義でした。１０月の佐賀県生涯教育にその時の講師をされた、AAC クリニック銀座　副院長の浜中聡子先生にきていただきます。男性の先生方もぜひご参加ください。
（鳥栖三養基支部　徳渕昭代）

＊　厚生労働省の関野秀人先生による、①「新しい医薬安全行政の展開」という演題に始まり、②「上手に歳を重ねるために」アンチエイジング医学の現状　③メタボリックシンドロームと食生活　④「メタボリックシンドロームの本質にせまる」病態機序から考える解決方針　の４講義を夕方４時まで、みっちりと受けてきました。ハードなプログラムではありましたが、生活習慣という内容で仕事に活かすというより、自分自身の身に迫ることとして、興味深く聞き入ってしまいました。特にアンチエイジング医学の現状の講義内容は、抗酸化、デトックス、ホルモン補充、精神的充実と興味をそそられる内容で、もっと聞きたい。また、自分も治療を受けてみたいとと思うほどに面白い内容でした。前日の交流会から参加しましたが、若い方から年配の方まで、皆さんパワフルで、圧倒されつつもパワーを貰って来たように感じます。また機会があれば今度は人を誘って是非参加したいと思います。
（唐津東松浦支部杉岡祐子）

＊　今回、初めて参加させていただきました。個人的にも大変興味ある、アンチエイジングについての話。また、現在話題のメタボリックシンドロームについては、食生活と病態機序の二方面からの話。どの先生の話も、とても分かりやすく、今後の服薬指導に役立てていける内容で、充実した講演でした。　（鳥栖三養基支部　江頭貴子）

＊　厚生省からの第１講座で薬局が医療提供施設となってから約２年、なかなか顔が見えてこない。もっともっと、薬剤師の現場での活躍ぶりなど、わかってもらう必要があると言われていた事が耳につき、地域の「かかりつけ薬局」として信頼される仕事をしていかなければと思いました。　（佐賀市支部　田中須磨代）

＊　年を重ねるということは、身体も心も同じく衰えていくことと当たり前のことですが、感じました。アンチエイジングとは、一つのファクターだけを若返らせても意味がないこと。すべての要素が助け合いながら老化を認めながら現状維持もしくは若返ることはできるのではと思い始めました。
（鳥栖三養基支部　宮地和子）

FAPA 2008（アジア薬剤師会連盟）学術大会参加のお誘い

7th－10th　November 2008

テーマ：The Approach to Quality Health care

「質の高いヘルスケアへのアプローチ」

場所：Grand Copthorne Waterfront Hotel,Singapore　連絡　徳渕まで 0942-85-3939

ケンタッキー州大学　臨床薬学部、薬局、病院　視察メンバー募集

日本女性薬剤師会会員から 15 名~20 名

期間：10 月 25 日（土）～11 月 2 日（日）9 日間　　費用：40 万

詳細は徳渕まで

＜診療ガイドライン薬剤コースの単位取得システム変更のお知らせ＞

平成２０年度から本講座の単位取得が変わりました。

Ⅰ「通信研修単位を」取得するためには、以下の３点をクリアすることが必要です。

① テキストごとに「演習問題」に解答し、決められた期日（当月の月末）までに事務局へ郵送し、添削を受ける。＊合計８回

② スクーリング講座を受講し、「スクーリング講座出席確認書」を提出する。

③ 講座終了時に「学習確認書」（研修成果を２００字から４００字にまとめる）を提出する。

Ⅱ「自己研修単位」を取得する場合

① 「自己研修単位」請求に必要な書類を提出（日本薬剤師研修センターのＨＰよりダウンロードしてください）

② 自己研修は４時間の研修につき１単位が交付される。取得単位数に制限はないが、認定薬剤師申請の際に、計算される単位数は年間５単位まで。

お不明な点は、日本薬剤師研修センターにお問い合わせください。

日本女性薬剤師会 HP：http://www.jyoyaku.net/

診療ガイドライン薬剤コース研修と単位取得説明：http://www.jyoyaku.net/guide_line/index.html

＜第６回日本女性薬剤師会移動セミナーin 佐賀経過報告＞

６月末で参加申し込みを締め切りました。全国各地より１８０名の先生方が参加され、３００名を超える規模のセミナーとなりました。交流会へも１４０名、観光６０名を超える方のご賛同をいただきました。これも皆様方のご理解、ご協力とありがたく思っております。

現在、交流会・会場設営・展示・要旨集・観光企画の準備を県薬剤師会３役の先生方を始めとして、在宅医療介護部会、青年薬剤師部会、薬局部会等と協力して進めています。女性薬剤師部会としても、この全国大会を成功させ、一丸となって活動している佐賀県薬剤師会の姿を全国の皆様にお見せしたいと思っております。

＜ちょっと一言＞

大先輩の薬剤師の方にお話を伺う機会をいただきました。親の庇護の下のいたずら盛りから、青春時代の戦時下での経験、薬剤師になったきっかけや乗り越えてきた苦労話。それもお人柄のせいでしょうか、とうとうと流れる川に逆らわずに進むお船のように感じました。「長命は粗食・正直・日湯・陀羅尼・おりおり御下風あそばさるべし」の意味が分かったような気がしました。(島田)